

# 傍聴者からの声



若佐 大宮義勝さん

## 『町議会を傍聴して』

私自身、町議会の傍聴は二度目です。今年最後の定例会は12月16日に開会され、私は午後からの傍聴となりました。

受付の傍聴者名簿には、午前中1名の方の名前が記されているのみで、少し淋しい感じを持ちつつ、一般傍聴席に入ると、既に午後からの議事が始まっています。

「ことが本来の仕事であり、それをチェックする場が議会です。町民から選ばれた代表者」議員が行政をチエックし、また住民の声を届けることを仕事としているわけですから、その立場で傍聴させていただきまし

た。一般質問は、各議員さんがそれぞれの立場から、町政のあり方や今後行政執行をどの様に考えているのか等を質問されていました。今回は、新たに誕生した川根町長の行政手腕にも注目し、答弁を聞き入りました。

川根町長の答弁は、厳しい財政事情のもとで、町民の求める具体的な内容はまだ聞かれませんでした。が、来年度の予算編成に向けて、高齢者入浴料の無料又は軽減について検討し見直す考えを示しましたが、実現に向けて期待したいと思います。

最後に、議会の傍聴に町民の皆さんが気軽に足を運んでもらえるよう工夫と働きかけを強めていただきたいことをお願いいたします。



## 議会を傍聴してみませんか!!

第1回定例会は3月に開催されます

詳しくは議会事務局にお尋ねください



## あとがき

平成21年の新年は、猛吹雪に追い立てられるが如く去っていった感じがしますが、町民の皆様には、ご健勝の中、希望ある新年を迎えたことお慶び申し上げます。

さて、本年は冒頭にも記した猛吹雪が年末年始の挨拶の如きこの一年を暗示しているように思えてなりません。

米国で発生した未曾有の金融危機を引き金に、世界中があつという間に同時不況に陥る中で年が明けてしまいました。年の瀬に職と住まいを奪われ、命までも脅かされている人達も多数現れてしまった現実には心が痛む思いであります。

これらは米国で始まった世界的な株価下落、原油高騰、輸出環境の悪化による景気減退が雇用不安の引き金となり、益々、国民生活の苦しさを増大させているのです。

佐呂間町においても、国の交付税の削減、町税の減収の中、基幹産業の活性化対策、少子高齢化社会に対応する福祉政策、商工業の振興と雇用の確保対策など多事多難の年になりそうです。発想の転換が必要なのかもしれません。

初夢の一場面より  
(広報特別委員 船木淳一)